

**「基礎科学研究助成」に2億円
「環境研究助成」に1億円の助成を決定**

住友財団(会長 野依 良治、理事長 住友吉左衛門)は、この度2026年度の「基礎科学研究助成」として総額2億円、「環境研究助成」として総額1億円の助成を決定いたしました。

両プログラム共に、前年度から応募数が大幅に増加した一方、一件当りの助成金額を増やすために採択数を絞っており、例年に増して厳しい選考となりましたが、若手研究者を中心とした意欲的な研究を採択いたしました。

尚、基礎科学研究助成については、昨年度、真に我が国の基礎科学研究の発展に資することを目指し、助成金総額を5千万円増額した上で、年齢制限(45歳以下)の設定など、制度の見直しを行いました。今年度も同内容で継続しています。

1. 基礎科学研究助成

若手研究者による基礎科学(数学、物理学、化学、生物学及びこれらの複合分野並びに工学の基礎分野)研究に対する助成を行うもので、大隅 典子日本学術振興会理事を委員長とする選考委員会(委員13名)による選考の結果、963件の応募の中から、

- ワシントン大学(米 シアトル) 産婦人科 浜崎 伸彦 テニユアトラック助教による『ヒト体軸発生における自己組織化の原理の解明』(助成金額:500万円)
- 東京大学 大学院理学系研究科 瀧川 晶 准教授による『赤外光学特性から読み解く星間ダストの形成履歴』(助成金額:500万円)

など45件に対し、総額2億円の助成を行うこととしました。

2. 環境研究助成

環境問題の解決・改善に資する様々な研究に対し助成を行うもので、沖大幹東京大学教授を委員長とする選考委員会(委員8名)で選考の結果、

- (1) 「課題研究(募集課題『地球のネイチャーポジティブを実現するための学際的研究または国際的研究』)」については、47件の応募の中から、

- 龍谷大学 先端理工学部 山中 裕樹 教授らによる
『ネイチャーポジティブの地域実装を支える学際的自然資本評価指数の開発と社会実証』
(助成金額:1,000 万円)

など 3 件に対し、総額 3,000 万円の助成を行うこととしました。

(2) 「一般研究」については、488 件の応募の中から、

- 山口大学大学院創成科学研究科建設環境系 松本 直之 准教授による
『地震国における解体・再構築可能な木質構造の機械的接合部構法の開発』
(助成金額:350 万円)
- 千葉大学大学院園芸学研究院 深野 祐也准教授らによる
『湿地再生型太陽光発電:自然に優しい再生可能エネルギーの新たなモデル』(助成金額:430 万円)

など 22 件の研究に対し、総額 7,000 万円の助成を行うこととしました。

以 上

2026年度 基礎科学研究助成 助成対象

[分野別 研究者名 50音順]

(単位:万円)

No	分野	所属機関	職位	研究者	研究テーマ	助成金額
1	数学	東京科学大学 情報理工学院	助教	岡 寄 郁也	PDE制約付き平均場ゲームとそのトポロジー最適化への応用	100
2		北海道大学 大学院 理学研究院	准教授	蔡 園青	簡約群の保形表現論から被覆群へ	150
3		福岡大学 理学部	准教授	佐竹 翔平	マルコフ型曲面から得られるグラフの構造解明	195
4		大阪大学 大学院 理学研究科	准教授	馬場 伸平	複素射影構造と写像類群の指標多様体への作用	150
5	物理学	大阪大学 大学院 基礎工学研究科	講師	石井 明男	電子・原子論に基づくナノ薄膜形成過程及びその形状の非経験的予測	500
6		神戸大学 大学院 理学研究科	助教	伊藤 飛鳥	望遠鏡観測で捉える高周波重力波の痕跡	200
7		東北大学 大学院 工学研究科	准教授	大脇 大 他2名	脳なき軟体生物の「計算する身体」: 自己組織化臨界が担う物理リザーバー原理	500
8		京都大学 大学院 理学研究科	特定助教	加藤 勢 他4名	ミューオン分光器を用いた雷雲の局所的強電場構造の解明	500
9		大阪大学 大学院 生命機能研究科	准教授	鈴木 剛	カイラルフォノンが拓く角運動量エンジニアリング	500
10		東京大学 大学院 理学系研究科	准教授	瀧川 晶	赤外光学特性から読み解く星間ダストの形成履歴	500
11		北海道大学 大学院 工学研究院	助教	谷 智行 他1名	超流動ヘリウムの量子滴下における時間相関の物理	500
12		東京大学 大学院 理学系研究科	准教授	張 奕勁	一次元モアレ超格子を用いた朝永-Luttinger液体状態の探索	500
13		近畿大学 理工学部	准教授	信川 久実子 他3名	最新鋭の宇宙X線天文台で解き明かす銀河宇宙線生成の点火過程	500
14		東京大学 大学院 工学系研究科	助教	日置 友智	ナノ磁性量子情報担体の開拓	500
15		南洋理工大学 (シンガポール) 材料科学・工学部	助教授	東垂水 直樹	自然スペクトルの構造的写像原理の創出と光機能設計への展開	500
16		東京大学 大学院 工学系研究科	准教授	Hirschberger Maximilian	AI駆動粉末実験による強相関酸化物相図の再探索	500
17		東京大学 大学院 工学系研究科	准教授	藤代 有絵子	高静水圧下精密測定で解く二層ニッケル酸化物高温超伝導の発現機構	500

No	分野	所属機関	職位	研究者	研究テーマ	助成金額
18		産業技術総合研究所 先端半導体研究センター	主任研究員	諸田 美砂子 他1名	カルコゲナイド系層状物質におけるスピン輸送現象の機構解明と新機能開拓	500
19	化学	名古屋大学 大学院 工学研究科	教授	井改 知幸 他2名	機械的刺激を分子キラリティへ直接変換するメカノキロプティカル材料の創製	500
20		東北大学 大学院 生命科学研究所	教授	植田 浩史	ビタミンB12のモジュラー型合成を基盤とする筋萎縮性側索硬化症治療薬の開発	500
21		大阪大学 大学院 工学研究科	准教授	大久保 雄司	高分子／金属界面における圧力誘起熱分解現象の解明と接着技術への展開	500
22		大阪大学 大学院 工学研究科	助教	垣内 勇哉	ニトロシル錯体の光励起を経た一酸化窒素を原料とするC-H結合官能基化反応の開発	400
23		京都大学 大学院 理学研究科	助教	門田 健太郎	大気直接回収を目指したCO2から組み上がる金属－有機構造体の開発	500
24		京都工芸繊維大学 材料化学系	准教授	神林 直哉	主鎖型ヘミシアニン高分子が拓く近赤外光機能の創出	500
25		慶應義塾大学 薬学部	助教	小林 透威	大環状配位子による高反応性化学種の制御と選択的分子変換への展開	250
26		近畿大学 工学部	講師	塩谷 暢貴	高感度赤外分光法による単分子膜高密度化機構の解明	500
27		自然科学研究機構 分子科学研究所 理論・計算分子科学研究領域	助教	白男川 貴史	化学空間における電子スピン状態制御のための化学原理開拓	400
28		自然科学研究機構 分子科学研究所 生命・錯体分子科学研究領域	准教授	瀬川 泰知	全てsp ² 炭素からなる三次元COFの創製と機能開拓	500
29		京都大学 大学院 農学研究科	教授	高岡 洋輔 他1名	植物個体への高機能タンパク質送達を実現する分子基盤の創出	500
30		京都大学 大学院 工学研究科	准教授	田村 朋則 他1名	内在性タンパク質に対する異種タンパク質融合法「ケミカルフックイン」戦略の開発	500
31		徳島大学 大学院 医歯薬学研究部	准教授	田良島 典子 他1名	触媒制御による立体選択的ホスホロチオエート核酸合成法の開拓	490
32		東京大学 大学院 薬学系研究科	助教	外山 侑樹	NMR実験データを基盤としたタンパク質天然変性領域の機能エンジニアリング	400
33	生物学	筑波大学 医学医療系	准教授	伊澤 俊太郎	食虫目の実験動物スルクスをを用いた嘔吐の脳メカニズム	500
34		長崎大学 大学院 総合生産科学研究科	助教	上野 幹憲 他2名	魚類培養細胞はなぜ不死化するのか？	500
35		京都大学 医生物学研究所	教授	加藤 哲久 他1名	中枢神経系組織におけるウイルス感染が駆動するリン酸化制御の再定義	500

No	分野	所属機関	職位	研究者	研究テーマ	助成金額
36	生物学	ワシントン大学 (米国シアトル) ゲノム科学科	助教授	坂上 沙央里 他1名	ヒト原腸形成期の遺伝子発現を制御する非コードゲノム暗号の解読	500
37		神奈川大学 理学部	准教授	坂本 卓也 他1名	植物の自然集団におけるセントロメア配置多様性の三次元ゲノム基盤の解明	500
38		名古屋大学 大学院 理学研究科	助教	佐々木 武馬	中心体に依存しない細胞分裂軸形成の分子機構解明	500
39		東北大学 大学院 薬学研究科	助教	椎葉 一心 他4名	ペルオキシソームの機能多様性と制御機構の解明	500
40		大阪大学 大学院 理学研究科	教授	嶋川 銀河	海洋光合成を支える新奇天然変性タンパク質の機能解析	500
41		京都大学 大学院 医学研究科	准教授	中川 直樹	神経細胞ゴルジ体の加齢変化とその生理的老化における意義の解明	500
42		ワシントン大学 (米国シアトル) 産婦人科	テニユ アトラック 助教	浜崎 伸彦	ヒト体軸発生における自己組織化の原理の解明	500
43		神戸大学 大学院 理学研究科	講師	松花 沙織	心臓神経堤細胞がつくりだす心臓再生能のしくみ	400
44		東北大学 大学院 医学系研究科	教授	三島 英換	レドックス依存性細胞死の制御機構の解明	500
45		三重大学 大学院 医学系研究科	助教	山川 大史 他3名	一次線毛形成制御因子の機能転換メカニズムの解明	500

合計	45件	2億135万円
----	-----	---------

2026年度 環境研究助成 助成対象一覧

1. 課題研究

本年度募集課題

「地球のネイチャーポジティブを実現するための学際的または国際的研究」

[研究者名 50音順]

(単位:万円)

No	所属機関	職位	研究者	研究テーマ	助成金額
1	東京大学 未来ビジョン研究センター (IFI)	教授	Gasparatos Alexandros 他3名	ネイチャーポジティブな水産養殖のための概念的基盤と転換経路	1,000
2	国立環境研究所 生物多様性領域	研究員	篠田 悠心 他1名	ネイチャーポジティブに向けた森林・草原生態系の保全資源配分と開発回避の全球評価	1,000
3	龍谷大学 先端理工学部	教授	山中 裕樹 他6名	ネイチャーポジティブの地域実装を支える学際的自然資本評価指数の開発と社会実証	1,000

合計 3 件 3,000万円

2. 一般研究

[研究者名 50音順]

No	所属機関	職位	研究者	研究テーマ	助成金額
1	慶應義塾大学 経済学部	教授	阿部 景太 他2名	個別割当(IQ)管理の経済性と柔軟な制度設計:日本のまき網漁業における実証分析	320
2	法政大学 マイクロ・ナノテクノロジー研究センター	客員准教授	石黒 亮 他1名	牟婁病の危険因子と疑われる環境水中リチウム同位体の研究	300
3	東北大学 理学研究科	教授	梅澤 拓 他2名	世界三大メガシティのメタン排出を把握する:ダッカでの車載移動観測	320
4	筑波大学 数理物質系化学域	教授	江波 進一	室内大気汚染の起源の解明:オゾン-皮膚成分の界面相互作用メカニズム	270
5	京都大学 生存圏研究所	准教授	榎本 有希子 他1名	精密分子設計に基づくリグニン由来の高性能バイオマス熱硬化性樹脂の創製	330
6	広島大学 大学院先進理工系科学研究科	教授	片桐 清文	遮熱機能を有する構造発色性環境調和型色材の開発	300
7	東京農工大学 農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター	助教	小林 勇太 他4名	森の少子高齢化を止める ―再生核を用いた天然林の世代交代回復―	240

No	所属機関	職位	研究者	研究テーマ	助成金額
8	慶應義塾大学 理工学部	専任講師	齋藤 駿	微生物のケミカルプライミングによる耐熱化戦略に基づく脱炭素型発酵技術の開発	400
9	九州大学 システム情報科学研究所	助教	佐々 滉太	電動航空機用超伝導モータ設計に資する回転磁界中REBCO超伝導線材の交流損失特性解明	300
10	産業技術総合研究所 バイオものづくり研究センター	主任研究員	高橋 迪子	環境ウイルスの感染ダイナミクスを解き明かすハイスループット培養系の構築	400
11	UC Berkeley Rausser College of Natural Resources, Agricultural and Resource Economics	PhD student	田中 孝直 他2名	大規模データと因果推論による環境規制の便益評価—大気汚染、騒音、花粉症を対象に	500
12	広島大学 大学院先進理工系科学研究科	准教授	柘植 雅士	氷表面におけるラジカルの直接観測と反応機構の解明	300
13	北海道大学 大学院文学研究院	助教	寺田 千里 他5名	人口減少下の外来大型哺乳類がもたらす生態系・感染症リスク評価	450
14	農業・食品産業技術総合研究機構 植物防疫研究部門	上級研究員	中野 亮 他2名	捕食性キリギリス類のもたらす超音波サウンドスケープを活用した蛾類害虫管理	160
15	秋田大学 教育文化学部	教授	林 武司 他2名	大陸棚下に賦存する淡水の塩水化のしくみと時間スケールの解明	330
16	千葉大学 大学院園芸学研究院	准教授	深野 祐也 他3名	湿地再生型太陽光発電：自然に優しい再生可能エネルギーの新たなモデル	430
17	名古屋経済大学 経済学部	准教授	松野 正太郎 他1名	欧州におけるPost-FIT大型PVの地域調達・地域消費モデルの比較研究	360
18	神戸大学 大学院理学研究科	教授	松原 亮介	“捨てない化学”の創成：廃棄物からエネルギーキャリアを生む可視光反応の開発	250
19	山口大学 大学院創成科学研究科建設環境系	准教授	松本 直之	地震国における解体・再構築可能な木質構造の機械的接合部構法の開発	350
20	東京大学 大学院総合文化研究科	大学院 修士課程1年	水野 那奈子	環境配慮を支える「自然とつながっている感覚」は科学への信頼と両立するか	140
21	福岡工業大学 工学部生命環境化学科	准教授	宮元 展義	強靱でかつ解離・再生可能な超コロイドナノファイバー／高分子複合ゲル	250
22	愛媛大学 先端研究院沿岸環境科学研究センター	教授	渡辺 幸三 他2名	衛星データとモバイルアプリを活用したデング熱早期警戒システムの社会実装	300

合計 22 件 7,000万円